



©2005 石塚真一小学館

島崎三歩の山岳通信 特別連載 Vol.2

信州 山のプロフェッショナル

長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則1週間ごとにお伝えしている「島崎三歩の山岳通信」。その特別連載として、季節ごとに発行する「山岳情報」に登場！

信州の山で多方面に活躍する“プロフェッショナル”の方々の声を、皆様にお届けします！（聞き手：編集部）

Vol.2 “山の守り人”のプロフェッショナル

北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会 救助隊長
北アルプス山小屋友交会 会長
横尾山荘 代表取締役 山田 直さん

<プロフィール>

学生時代から岩壁登攀に傾倒し総合的な登山を経験。近年は登山文化の継承、安全登山の普及に努め、周辺登山道の整備にも尽力。平成29年 北アルプス南部地区遭対協救助隊長に就任。



「時代が豊かになっても、山の険しさは変わらない」（山田）

一登山者に人気の槍・穂高連峰の登山口にある山小屋のご主人であると同時に、地区の民間救助隊の隊長でもある山田さん。

山小屋と救助隊という2つの視点から登山者を一番近くで見続けてきて、最近の登山者の傾向、特徴などでお気づきの点はありますか？

山田 日本を代表する山岳観光地である上高地、そこから3時間歩いたところにある「横尾」で山小屋を営んでいます。私が山小屋の仕事に就いて三十余年になるのですが、十数年前から登山者層が変わりました。昔は山岳会などのグループ登山が主体でしたが、近年は、やはり個人でいらっしゃる方、いわゆる未組織登山者と言われる方々が多いと感じています。

一未組織登山者の方は、具体的にどのようなリスクがあるのでしょうか？

山田 組織に属さない方は、登山の情報を雑誌やインターネット、登山用品店などで入手していると思いますが、その場合、登山に必要な知識や技術を正しく、しっかりと学ぶ機会がありません。これだと、正しい知識を得られず、技術も向上しないために、“自分の体力、技術に合った山”の判断ができないまま、日本有数の厳しい山岳である槍・穂高連峰に来てしまう、という現状があると感じています。



山小屋だけでなく、登山道整備などを通して登山者の安全を守ってくれている。

一山小屋のご主人として多くの登山者を見てきて、具体的に「これは危ないな」と感じるような登山者の方はいらっしゃいましたか？

山田 今シーズンも、8月のある雨の降りしきる日の夕方、レインウェアを着用せず、加えて地図もヘッドランプも持たないで濡れの登山者と横尾で出会いました。どこに行くかと聞くと「このまま槍ヶ岳までいく」と答えられましたが、到底無事にたどり着ける様子ではありませんでしたので、その場で上高地に引き返すように指導しました。一歩間違えば遭難してしまうような方も、大勢の中には見受けられます。それは装備不足だったり体力不足だったりしますが、時代がいくら豊かで便利になっても、山の険しさは変わりません。登山者がしっかり準備するしかないのです。

「事前に山をしっかりと調べて計画を立てることが、山の楽しみの一つ」（山田）

一準備というところでは、平成 28 年7月から「長野県登山安全条例」に基づいて登山計画書の提出が義務化されましたね。横尾は多くの登山者が行き交う場所でもありますが、登山者の変化や、条例の効果は感じますか？

山田 条例によって、横尾は「指定登山口」に指定されたので「ここから先は山に入るんだぞ」という緊張感を持っていただけになったと思います。しかし、登山計画書はただ単にその場で書いて「提出すればいい」のではなく、本来は「事前に自分でしっかり調べて計画を立てる」ことが最も大切ですし、それが山の楽しみの一つでもあると思っています。

横尾山荘でも、シーズン中はたくさんの登山計画書をお預かりしますが、しっかり作ってくれた計画書は受け取るこちらとしても「この登山者は大丈夫だな」と嬉しくなりますね。

一登山者が安全に山を楽しむために、アドバイスをお願いします。

山田 登山は本来、自らの知識、技術とともに“ステップアップ”していくものです。槍・穂高連峰に登りたいと考えた際には、当然踏むべき段階があって、しっかりと実力をつけながらレベルの高い山を目指す必要があります。そのような“登山の総合力”は突然備わるものではありません。山に行く回数が増えるに従い、自然のすばらしさを体験しながら、様々な知識が増えて、技術が身につけて、それが安全登山につながっていくものだと考えています。

信州には、ステップアップしながら楽しめる魅力的な山がたくさんあります。それぞれのペースで、無理をせずに、思い思いの登山を楽しんでいただきたいですね。



山小屋主人と救助隊長、両方の役割を果たし続ける山田さん。登山者が安全に山を楽しむよう、常に見守ってくれている。

一長年にわたって登山者を見守る山田さんの熱い想いをお聞きました。山小屋での楽しいひと時も、登山の大きな魅力ですね。ステップアップしながら、信州の山を安全に楽しみましょう！